

## 平成20年度 日本自転車振興会競輪補助事業完了のお知らせ

この度、日本自転車振興会から平成20年度競輪助成金の交付を受け、先の事業を完了致しました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますとともに、日本自転車振興会を始め、ご協力賜りました関係各位に謹んで感謝の意を表します。

一、事業名	平成20年度障害者のスポーツの振興補助事業
一、総事業費	66,558,495円
一、補助金額	49,003,000円
一、実施場所	東京都中央区日本橋人形町2丁目 14番9号 三星ビル内 財団法人日本障害者スポーツ協会
一、完了年月日	平成20年10月13日

財団法人日本障害者スポーツ協会  
会長 北郷 勲 夫

## 概 要

### 1.第8回全国障害者スポーツ大会

期日	平成 20 年 10 月 11 日～13 日
場所	大分市、佐伯市、別府市の各会場
参加人数	選手 約 3, 2 0 0 人 役員 約 2, 4 0 0 人 計 5, 6 0 0 人 ボランティア 延べ約 7, 0 0 0 人 一般観覧者 延べ約 8 万人
実施競技	正式競技 1 3 オープン競技 2 (ふうせんバレーボール、卓球バレー)

### 2.第 8回全国障害者スポーツ大会予選会(全国6～7地区)

#### ①精神障害者バレーボール競技

全国を 6 地区 に分け、平成 20 年 5 月 3 日から 6 月 15 日までの間、予選を行い、次のとおり出場チームを決定した。

地区	男子
北海道・東北	青森県
関東	埼玉県
北信越・東海	長野県
近畿	大阪 府
中国・四国	高知県
九州・沖縄	佐賀県

#### ②聴覚障害者バレーボール競技

全国を 6 地区 に分け、平成 20 年 5 月 17 日から 6 月 8 日までの間、予選を行い、次のとおり出場チームを決定した。

地区	男子	女子
北海道・東北	札幌市	札幌市
関東	東京都	神奈川県
北信越・東海	愛知県	静岡県

近畿	大阪市	大阪市
中国・四国	広島市	岡山県
九州・沖縄	福岡県	沖縄県

### ③グランドソフトボール競技

全国を7地区に分け、平成20年5月17日から6月8日までの間予選を行い、次のとおり出場チームを決定した。

地区	出場チーム
北海道・東北	仙台市
関東	群馬県
北信越	長野県
東海	三重県
近畿	大阪府
中国・四国	徳島県
九州・沖縄	福岡県

### ④車椅子バスケットボール競技

全国を6地区に分け、平成20年5月18日から6月22日までの間予選を行い、次のとおり出場チームを決定した。

地区	出場チーム
北海道・東北	仙台市
関東	千葉県
中部・北陸	愛知県
近畿	神戸市
中国・四国	香川県
九州・沖縄	沖縄県

### ⑤知的障害者サッカー競技

全国を6地区に分け、平成20年4月13日から6月22日までの間予選を行い、次のとおり出場チームを決定した。

地区	出場チーム
北海道・東北	札幌市
関東	埼玉県

中部・北陸	静岡県
近畿	大阪府
中国・四国	愛媛県
九州・沖縄	大分県

### ⑥知的障害者バスケットボール競技

全国を6地区に分け、平成20年4月26日から6月8日までの間予選を行い、次のとおり出場チームを決定した。

地区	男子	女子
北海道・東北	秋田県	秋田県
関東	横浜市	—
中部・北陸	愛知県	長野県
近畿	—	神戸市
中国・四国	岡山県	島根県
九州・沖縄	—	—

### ⑦知的障害者バレーボール競技

全国を6地区に分け、平成20年4月13日から6月7日までの間予選を行い、次のとおり出場チームを決定した。

地区	男子	女子
北海道・東北	岩手県	—
関東	東京都	東京都
中部・北陸	岐阜県	岐阜県
近畿	兵庫県	兵庫県
中国・四国	山口県	高知県
九州・沖縄	—	—

### ⑧フットベースボール競技

全国を6地区に分け、平成20年4月20日から6月8日までの間予選を行い、次のとおり出場チームを決定した。

地区	出場チーム
北海道・東北	仙台市
関東	東京都

中部・北陸	静岡県
近畿	神戸市
中国・四国	高知県
九州・沖縄	—

### ⑨知的障害者ソフトボール競技

全国を7地区に分け、平成20年5月7日から6月8日までの間予選を行い、次のとおり出場チームを決定した。

地区	出場チーム
北海道・東北	仙台市
関東	群馬県
北信越	長野市
東海	三重県
近畿	大阪府
中国・四国	徳島県
九州・沖縄	福岡県

### 3.第37回日本車椅子バスケットボール選手権大会

期間	平成20年5月2日～4日
場所	東京体育館
参加チーム	20チーム 優勝:宮城MAX(宮城県)
参加人数	選手300人 役員・ボランティア400人
観客数	5,000人

### 4.日本障害者自転車競技大会

■ロードレース	
期日	平成20年10月19日
場所	万場調整池(愛知県豊橋市)
参加人数	選手9人 役員26人

<b>■トラックレース</b>	
期日	平成 20 年 11 月 2 日
場所	向日町競輪場(京都市)
参加人数	選手 6 人 役員 41 人

## 5.国際盲人マラソン大会

期日	平成 20 年 4 月 20 日
場所	土浦市川口運動公園陸上競技場、霞ヶ浦湖畔
加人数	一般選手 19,409 人 視覚障害選手 183 人 ボランティア 3,500 人以上

## 6.2008 北京パラリンピック日本選手団ユニフォーム

期日	平成 20 年 9 月 6 日～17 日
場所	中国(北京市、青島市、香港特別行政区)
加人数	選手 162 人 役員 132 人 計 294 人

## 成 果

### 第 8 回全国障害者スポーツ大会

「チャレンジ！おおいた国体・おおいた大会」のテーマと「笑顔、元気、ともに未来へ 新たな一歩」をスローガンとし、大分県の大分市、別府市、佐伯市を会場に開催された。

簡素な中にも夢と感動を実感できる大分らしい大会の創造にチャレンジし、大会に集う全ての人にそれぞれのチャレンジを応援し、選手・役員、ボランティア、観客など約9万2千人が参加するなか熱戦と温かな交流が繰り広げられた。

### 第 8 回全国障害者スポーツ大会予選(全国 6 地区～7地区)

予選は団体競技で、全国大会出場のため9競技12種目の地区予選を全国6～7地区において実施された。身体障害者の競技では車椅子バスケットボール、グランドソフトボール、バレーボール男子・女子を行い、知的障害者の競技では、サッカー、バスケットボール男子・女子、サッカー、フットベースボールを行った。

今年度から新しく加わった精神障害者の競技では、バレーボールを行った。

### 第 37 回日本車椅子バスケットボール選手権大会

平成20年3月末までに10ブロックの予選会で勝ち上がった20チーム(初出場4チーム)が3月に行われた全国評議会で公平に抽選にて決定された組み合わせによりトーナメント戦を行い日本一のチームを決するという目標で、10ブロックの予選会を開催できた。

### 日本障害者自転車競技大会

障害者スポーツの一つとしての自転車競技の発展、競技者の拡大を図るとともに、一般の自転車競技者との交流などにより、選手の発掘、技術の向上につなげることができた。さらに、ポスターや横断幕に補助事業であることを明記したもので、競輪の収益が公共の福祉に活用されていることも広く知らせることができた。

### 国際盲人マラソン大会

第18回かすみがうらマラソン大会兼国際盲人マラソン大会は、過去最高となる2万人を超える参加ランナー、盲人ランナーも世界9カ国から183人を集めこの大会として過去最高を記録した。

### 2008 北京パラリンピック日本選手団ユニフォーム

2008 北京パラリンピック競技大会においては、選手団のユニフォームを作成することが出来て、選手役員が一体となって競技にチャレンジし、その結果獲得したメダルは、金5個、銀14個、銅8個の計27個の活躍となった。

## 今後期待される効果

### 第 8 回全国障害者スポーツ大会

全国規模の国内大会は本大会が最も大規模で、関わった選手、役員、ボランティア等の多くの人に障害者スポーツを周知することに大いに役立っている。開催県によって開催に関わる状況は様々であるものの、既に次年度開催県またはその次の開

催県の担当者が研修に訪れており、その気運は高まっている。

## 第8回全国障害者スポーツ大会予選

第8回全国障害者スポーツ大会予選会は団体競技については必須である。新人の発掘、演技力の向上、競技団体の組織力アップ、また障害者そのものの宣伝と障害者のスポーツの宣伝につながっている。

## 第37回日本車椅子バスケットボール選手権大会

障害者のスポーツで最も歴史のある車椅子バスケットボールの国内最大の大会である。今回は第37回目の大会となる。会場が東京体育館という場所から障害者のスポーツと見て頂く絶好の場所でもある。

## 日本障害者自転車競技大会

この大会は、自転車競技の中で障害者が参加できる唯一の障害者自転車競技大会である。

今年の北京パラリンピック大会の成績は金1、銀3、銅2、その他入賞4というメダルラッシュで、全選手が入賞を果たすことが出来た。今後も引続きこの大会を行うことによって、競技力を向上させ選手の自転車競技レベルを上げることによりさらに好記録が期待される。

## 国際盲人マラソン大会

第18回かすみがうらマラソン大会(兼)国際盲人マラソン大会は、国内外から2万人を超える参加ランナーを得て盛大に開催された。本大会の成功が視覚障害者の受入れを促し、多くの機会を提供することにつながる。

## パラリンピック日本選手団ユニフォーム

今後のパラリンピック競技大会に参加する選手団の活躍の一翼を担うものとして益々の必要性が高くなることとなろう。



## 本事業により作成した印刷物

(1)日本車椅子バスケットボール選手権大会	ポスター	20,000部
	チラシ	1 2,000部
	フライヤー	1 0,000部
	プログラム	2,300部
	報告書	900部

各配布先は以下のとおり

・協力企業	200 部
・チーム広告協力企業	40 部
・内部関係者	165 部
・協賛会員	300 部
・ボランティア	65 部
・OB会	100 部
・予備	30 部
	(計 900 部)

(2)日本障害者自転車競技大会	ポスター	200部
	プログラム	400部
	報告書	200部

報告書の配布先は以下のとおり

・各都道府県・指定都市障害福祉主管課	60 部
・各県障害者スポーツ協会	70 部
・選手	20 部
・大会関係者	10 部
・その他	(計 200 部)